

# 医学部同窓会便り



左写真は、昭和36年卒の在る先生から寄贈いただきました。古武彌四郎初代学長の書です。「静心鏡の如し」

## 和歌山県立医科大学同窓会記念事業本格的始動



去る、6月18日（木）午後4時から同窓会内の大学創立70周年記念事業実行委員会が、図書館の会議室をお借りして開かれた。記念事業の統括責任者である宇野英明同窓会長の挨拶に続き、宮下和久実行委員長の進行で記念事業の進捗状況が説明され、吉村利規会計委員長から寄付の状況、祝賀会参加者の状況が報告され、坂口雅宏会場委員長から祝賀会アトラクション等の提案があった。実行委員会参加者は宇野英明会長、宮下和久副会長、坂口雅宏副会長、吉村利規会計委員長、有田幹雄実行副委員長、森庸亮実行副委員長、佐々木政一委員、岸岡史郎委員、志波充委員の9名で活気にあふれた意見が出され近日中に皆さんに詳細をお知らせすることができると思います。

### 創立70周年記念事業は「和歌山の心」を感じていただける事業内容に

同窓会では既に同窓生にはお知らせのとおり平成27年11月1日に開催される「和歌山県立医科大学創立70周年記念事業」に向けて本格的に始動を開始しました。

今回の記念事業のコンセプトは「心の故郷がここにある」と考えています。記念講演では、弘法大師空海が真言宗の道場を開いて開創1200年を向かえた和歌山県民のみならず日本の心の故郷ともいえる高野山の高野山真言宗宗務総長の添田隆昭先生のご講演をいただき、また祝賀会ではオール和医大体制で卒業生のみならず教職員の方、学生の方、看護師さんを始めとするコメディカルの方々のご協力を得て私達同窓生の心の故郷「和歌山県立医科大学」を感じていただける創立70周年にするためにまた、記念事業を成功裡にの思いで一丸となって取り組んでいます。

今後の私達の大学の歴史の創造者として一端を担った会員の方々やこれから担う学生の方にも未来の自身の在り方や大学の在り方を70周年を契機に一度立ち止まり先輩諸氏の方々を始めご指導・お導きをいただいた先生方と語り合い感謝の念を抱き、そして同窓会も未来を見つめる創立70周年記念事業にしたいと考えています。

**同窓会員の皆様にお願ひ**  
お一人でも多くの方に祝賀会へのご出席を賜り、先生方が歩んでこられた大学の歴史の一齣一駒を多くの皆さまと語り合ひお祝ひしていただければ幸いです。  
尚、一層のご協力よろしくお願ひ申し上げます。

## 同窓会誌8号編集委員会開催



同窓会誌の発行は年々充実し近年では、読みごたえもあるとお褒めの言葉をいただくことも多くなりま  
した。  
今後更に内容を充実させ会員の皆様に喜んでいただける会誌として会員交流の場になりうるように務  
めて参ります。  
会誌に対してのご意見ご希望があれば事務局までご連絡ください。  
また、原稿依頼書が届いた場合は編集委員会の意をお汲み取りの上よろしくお願いたします。併せ  
て締切日の厳守もお願い致します。

去る6月18日（木）同窓会内大学70周年実行委員会に先立ち午後3時より図書館会議室をお借りして同窓会誌8号編集委員会が開かれた。会誌編集委員会参加者は、岸岡史郎編集委員長、宇野英明会長、宮下和久副会長、坂口雅宏副会長、有田幹雄委員、佐々木政一委員、志波充委員の7名で、岸岡委員長の挨拶に続き編集内容が議論された。

同窓会誌8号で、従来の内容に加えて大学創立70周年でもあり70周年の特集も組み込まれ  
楽しみな内容の会誌8号を皆さまのもとにお届けさせてもらえたいと思います。

編集委員会から筆者の皆様にお願として、印刷の関係上締切日を厳守の願  
して筆者校正を必ずしていただく事も確認された。

7号では筆者の皆様が多々ご迷惑をおかけした反省から重ねて締切日の厳守の願  
いたします。

会誌8号について在学生から会員の皆様にお問い合わせご協力の要請があるやも  
しれませんのでそちらにつきましてもご協力よろしくお願いたします。クラス会等の  
開催があれば同窓会誌にご寄稿よろしくお願いたします。リアルタイムでホームペ  
ージ上にアップも検討されています。

本年同様、来年3月発刊を目指していますので原稿をご依頼された方は編集委員  
会の意をお汲み取りのうえよろしくお願致します

**発行が待ち遠しい会誌を目指していますのでご協力をお願いします。**

### <同窓会員の皆様へ>

私達の母校は、本年創立70周年を迎えました。

同窓会では大学と手を携え幾度もの廃校の危機を乗り越え70年を迎えました。偏に同窓の先  
生方のご理解とご協力の賜物だと感謝申し上げます。

現在、4000名にのらんとする会員数を有する大きな組織にもなって参りました。

同窓会の運営は、入会金と年会費によって運営されていることをもう一度ご認識いただき同  
窓会が「大学の最大の理解者」であることを70年を契機に、私達が先輩から受けた思いやりを後  
に続く学生や後輩に繋いでいければと考えていますので宜しくお願いたします。